

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (1ドル=140円前後)	日本円	備考
授業料	\$0	\$0円	
宿舍費	\$9000	126万円	
食費	\$2000	28万円	これでも自炊で抑えた方だと思います。
図書費	\$170	23800円	
学用品費	\$50	7000円	
携帯・インターネット費	\$300	42000円	最初は Amazon で Sim を購入し、その後現地携帯会社にて契約しました。
現地交通費	\$0	0円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	\$800	112000円	旅行などは含めず。
被服費	\$200	28000円	
医療費	\$100	14000円	一度指を深く切ってしまいました。
保険費	\$2500	350000円	形態:明治大学(約10万円)と協定校の保険(\$2500)両方
渡航旅費		180000円	
ビザ申請費	\$220	30800円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計		2427600円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地:成田 目的地:バッファロー 経由地:ロサンゼルス	
復路 出発地:JFK 目的地:成田 経由地:バンクーバー	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金:	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:Zip Air + Jet Blue 料金:6万円前後 復路 航空会社:United Airlines 料金:12万円前後 ∴合計:18万円程度	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:)	
<input type="checkbox"/> インターネット(サイト名:)	
<input checked="" type="checkbox"/> その他(自力)	

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

 学生寮(寮の名前:) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

 個室 相部屋(同居人数)

3)共有部分

 バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

学内HPより

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

絶対にアパートがおすすめです。寮は一応 1 人部屋もありますが、基本的には1つの部屋に2~4人で共同生活です。たとえ一人部屋でも10人程度の人とバスルーム共用なので、潔癖な方やプライバシーの欲しい人は厳しいと思います。私は就活も同時並行でしていたのでアパートにしましたが、大正解でした。値段も大して変わりません。友達作りにくかったりするかな?と不安に思ったこともありましたが、自分次第で全然できるのでアパートがおすすめです。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)

 なし
 あり(治療を受けた場所:学校提携の救急病院)

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

 なし
 あり(問題の内容や相談した人等:現地の友人)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

キャンパス内で事件があったり豪雪で危険な際は、学校からメールが届くのでそれを参考にしていました。私自身は巻き込まれたことはありませんが、私がいた数時間後に滞在していた場所で銃撃事件が起こるといったことが数回ありました。念のため催涙スプレーは持ち歩いていました。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

豪雪の時以外、ネット状況などは特に困りませんでした。学内はずっと wifi が通っていてほぼデータも使用しません。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

最初に \$ 300 程度換金していき、必要なときだけ使いました。基本的にはクレジットカードを使用していました。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

日本の値段の 2 倍くらい払えば何でも手に入る気がします。飲みなれた薬、生理用品(日本のものの方が質はいいかも)、日本のメーカーの化粧品などは手に入らないかも? 100 均で買うようなものは、事前に 100 均で買ったほうがいいです。現地は何でも高いので。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:卒業に必要な一部だけでしたが、ほぼ申請しませんでした。)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input checked="" type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Intro to Sociology	社会学入門
科目設置学部・研究科	SOC
履修期間	秋学期中
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	Sara 先生
授業内容	社会学入門
試験・課題など	日々のクイズ、小テスト、テストなどいろいろありました。
感想を自由記入	日々のクイズを頑張れば落とすことはないとおもいます。授業内容は広く浅くというかんじですが、日本で受ける社会学の授業とはまた少し違い、面白かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Social Problems	社会問題
科目設置学部・研究科	SOC
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 80 分が 2 回
担当教授	Debra 先生
授業内容	アメリカの社会問題を軸に展開される社会学。
試験・課題など	たまにリアクションペーパー、3 回のクイズ
感想を自由記入	先生がユーモアのある方で面白かったです。私の書いたリアクションペーパーに長文で返事を下さったこともありました。おすすめです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Spoken English		スピークイングリッシュ	
科目設置学部・研究科	ELI		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	セミナー型 (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回		
担当教授	Aimee 先生		
授業内容	英語が母国語ではない留学生たち用のクラスで、英語でのプレゼンやグループワークを行う。		
試験・課題など	3 回のプレゼン、掲示板への投稿など		
感想を自由記入	内容だけ考えると、個人的にはあまり必要なかったかなあと思っています。英語が母国語ではない生徒たちに向けたクラスですが、内容があまりにも簡単なので授業中に遊んでいる人も多かったです。ただ先生や授業内容がとても優しいので、アメリカの授業方式に慣れない秋学期の間は比較的軽いこの授業を取っていてよかったかもしれません。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Intro to Academic Writing		アカデミックライティング入門	
科目設置学部・研究科	ELI		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義型(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 80 分が 2 回		
担当教授	Keith 先生		
授業内容	学術的論文の書き方講座		
試験・課題など	数回、学術的論文を書き自分で提出。		
感想を自由記入	私は高校でアカデミックライティングをやったので、必要なかったなと感じていますが、全く書き方の分からないひとは取るべきだと思います。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Sociology of Gender		ジェンダーの社会学	
科目設置学部・研究科	SOC		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義型(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回		
担当教授	Sarah 先生		
授業内容	「ジェンダーと〇〇」というアプローチ方法で進められる授業。論文を読みながら、ジェンダーに関する様々な問題や歴史の流れを学べる。		
試験・課題など	読書感想文、数回のテスト		
感想を自由記入	先生が本当にナイスで面白く、留学中いちばん好きな授業でした。すごくクリティカルな観点から、様々な問題を学べます。他の授業では扱わないようなディープな内容もあったのでお勧めです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Asian Pop Culture		アジアのポップカルチャー	
科目設置学部・研究科	AS		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	セミナー形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 80 分が 2 回		
担当教授	Stephanie 先生		
授業内容	主に中国、韓国、日本のポップカルチャーをクリティカルに分析する授業。		
試験・課題など	最終レポート、中間発表、毎週のリーディングレスポンス		
感想を自由記入	個人的にはすごく面白かったです。メディアやポップカルチャーがどんな社会的・政治的側面を持っているのかや、オーディエンスが無意識に受け取る価値観などについても学べました。ポップカルチャーの授業ですが、東アジアの国々の歴史も大まかに学ぶなかで、戦犯国としての日本が何度も取り上げられます。あと日本人ということで、色々質問されます！		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Intro to Sexuality		セクシュアリティ入門	
科目設置学部・研究科	GGS		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	セミナー形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 80 分が 2 回		
担当教授	Jessica先生		
授業内容	セクシュアリティに関する論文を読み、グループワークをする。		
試験・課題など	リーディングリーダー、数回のレポート		
感想を自由記入	本当につらい授業でした。まず 100 番台の授業にも関わらず、出される論文が桁違いに難しかったです。かつ、レイシズムやセクシュアリティに関して相当の知識がないと厳しいと思います。どれだけ時間をかけて頑張っても全く理解できない論文について、現地の生徒相手に一時間ディスカッションしなければならないので、毎回授業後泣いてました。おすすめしません。ただ先生は本当に優しく素晴らしい方なので、同じ先生の違う授業ならいいかもしれません。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Woman's Body, Woman's Health		女性の身体、女性の健康	
科目設置学部・研究科	GGS		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義とレシテーション(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回		
担当教授	Alice先生		
授業内容	女性の身体と健康についての講義。生物学っぽい話も入る。		
試験・課題など	数回のテスト、レポート		
感想を自由記入	比較的易しく、おもしろかったです。テストの内容も、毎回授業に出ていればわかる内容だと思えます。おすすめです。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)	
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:	
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など	
マイナビ、リクナビ、ビズリーチキャンパス、ワンキャリアなど	
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。	
博報堂。広告業界のなかでも、特に社風などが合うと感じたため。	
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。	
留学中に就職活動をしていました。留学開始の時期にサマーインターンが何社あったのですが、時差の関係で毎日夜から朝まで5日間寝れないというのが何回か続いたのでかなりきつかったです。でもそこはもう気合!!!ここをうまく乗り越えられると、ガッツのある人だと評価してもらえますし、早期選考に乗れるかもしれません。私はサマーのご縁から早期選考に乗り年内に内定をいただけたので、春学期や帰国直前の忙しい時期に2~3社受ける程度で済み、後半は就活のことをあまり考えず留学生活を楽しめました。ポスキャリアは多くの方が行きますが、私は志望業界の会社が出ていなかったので行きませんでした。友人らはウォークインではほぼ面接に進めないためもっと早く準備するべきだったと後悔している様子でしたので、参考にされるのを勧めます。コロナの影響で就活は最終面接以外オンライン面接のところが多かったり、そうでなくても相談すれば対応してくれる企業ばかりです。留学中でも就活は全然できますし、むしろ「ここを逃さないぞ!」と強い気持ちをもって臨めるので、タイパの良い就活ができる気がします。頑張ってください!	
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。	
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。	
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。	

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月 ~ 3月	
	4月 ~ 7月	
8月 ~ 9月		
10月 ~ 12月		
留学開始年	1月 ~ 3月	
	4月 ~ 7月	4月: 予防接種、Housingの手続き / 6月: ビザ準備開始(下旬には取得)
	8月 ~ 9月	7月: 航空券取得 / 8月下旬: 留学開始
	10月 ~ 12月	
留学/帰国年	1月 ~ 3月	12月下旬~1月下旬: 冬休み
	4月 ~ 7月	3月下旬: 一週間程度の春休み / 5月: 帰国
	8月 ~ 9月	
	10月 ~ 12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

【留学先を選んだ理由】

幼少期からニューヨークを舞台にしたドラマを多く見ていたので憧れがありました。また同じニューヨーク州という点から、きっとNYCにも近いのだろうと勝手に思い込み、ここに決めました。全然近くありませんでした。2回しか行きませんでした。(笑)

でもナイアガラの滝は近いし、トロントも近いし、NYCも遠くはないので楽しかったです。

【気候】

まずバッファローといえば、寒い!!! 本当に寒いです。冬は-15度まで下がります。雪は毎日降るので、綺麗だと思う心もすぐ消えます。私はバッファローに行ってから自分がsummer personだと心の底から実感し、留学先をもっと気候などを踏まえて決めるべきだったと少し後悔しました。snow stormの際は、バスは走らない、Uberを呼んでも来ない、Uber Eatsも動いてない、ということが多々ありご飯に困りました。緊急時の蓄えはしっかりすることをお勧めします。ただキャンパス内は本当に自然豊かで美しいです。

ちなみに夏でも室内はかなり寒いので薄手のジャケット必須です。秋学期から留学される方は、夏服より冬服を何倍も多めに持って行ってくださいね。あとナイアガラの滝は暖かいうちに、ISSがツアーしてくれると思うのでその時に行くのがおすすめです。安いい時期もちょうどいいので。

【友達作りについて】

友達作りって思ったよりすっごく大変でびっくりしました。よくよく考えると、「英語は大して話せませんが1年間だけここにいるので毎日遊んでください!」ってかなりハードル高くて難しいんですよね。毎日気心知れたお決まりのメンバーと過ごせたらそれはそれは最高ですが、ある程度条件が整わないと厳しい気もします。こういう毎日一緒に時間を過ごせる友達ができない場合、週1~2回会える友達を複数人作れると良いと思います。十分ってか百点満点だと思います。(というか心の元気を維持できれば友達いようがいまいが何でもいいんですが、友達がいないと落ち込みやすくなってしまふ気がするので、。)

でも留学中ってなぜか人と比べて、「みんな遊んでるのに、自分は部屋に一人でなにやってるんだろう」と思ってしまいがちです。この考え方はみんなが通る道なのですが、①SNSでキラキラしている友達も(自分も)実はみんな同じように感じている。②友達を作りに来たのではなくて勉強しに来た。③日本にいるときも一人の時間はたくさんあったはず。この3通りで考えてみると意外と落ち着きます。試してみてください。それでも無理な時は、トライあるのみです。最初の2週間はラッシュウィークといって様々なクラブがイベントをするので、気になるイベントは体にムチ打ってでも全部参加する!!! 仲良くなりたいと思った子は連絡先聞いて、ランチ誘ってみる! 断られても気にせず、次! この繰り返しで友達はできます。絶対!!!

だんだん生活に慣れると、友達もういいやってなると思いますが、誘われたらどんな集まりでも全部参加するくらいの気持ちでいた方が友達はできやすいと思います。頑張ってください!

【英語について】

あまりアドバイスできる立場ではないのですが、私はアメリカに行って「何喋ってるかわからなさすぎて、返せない、、、」という気まずい状況になりました。なので私が今留学前に戻るなら、とにかくリスニングを頑張ります。あと実際ネイティブが使う言葉とかスラングはもう聞いて覚えるしかないなので、すぐメモ!!! 分からないなら聞き返した方が分かったふりするより気まずくないです。できない分からない悔しいの気持ちをバネに頑張ってください。

長々と書いてしまいましたが、私の報告書が留学を志す学生の方々の参考になれば嬉しい限りです。正直留学生生活は本当に金銭的にも精神的にも何でもかんでも辛いことばかりで、泣いた夜も数えきれません。楽しいことより辛いことのほうが5倍くらいありました。でもそれ以上に、英語が目に見えて伸びた時、何でも話せる友達ができた時、自分から授業で手を挙げて発表できた時、1人で銀行口座開設したとき、とてつもない達成感ですごく嬉しかったです。帰国した今、自分の手の中にあるものたちを考えると、「本当に留学行ってよかった!!!」と心から思います。皆さんの留学生活も、充実した実りあるものになりますように。